

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

1．実施した計画の基本的な事項

（1）基礎情報

ア．対象地域

構成市町村等名	階上町						
地域内総人口（人）	12, 272						
地域総面積（km ² ）	94. 00						
地域の要件	豪雪						
地域の要件がその他の場合は 具体的に記載							
構成市町村に一部事務組合等が含まれている場合、当該組合の状況							
組合名称（設立年月日）							
組合を構成する市町村							

イ．計画実施期間

開始年月日	令和2年4月1日
終了年月日	令和7年3月31日
計画期間	5年

（2）対象地域における取組みに関する事項

ア．ごみ処理の広域化・施設の集約化の実施状況

確認した都道府県の広域化・集約化計画の名称	

イ．プラスチック資源の分別収集及び再商品化に係る実施内容

実施済の場合	実施地域	
	実施年度	
	実施方法	
	上記が④もしくは⑤の場合、その詳細	
実施しない地域		
プラ要件化対象事業の実施		
備考		

ウ．対象地域における一般廃棄物処理有料化の実施状況

有料化導入状況	
上記が④の場合、その詳細	
未導入の構成市町村名	
有料化導入に向けた検討状況 ※全ての構成市町村で導入済の場合は記載不要	

エ．対象地域における災害廃棄物処理計画の策定状況

策定状況	
策定済の構成市（計画の名称）	
未策定の構成市（策定予定時期）	
備考	

2 目標の達成状況

(一般廃棄物の処理)

減量化、再生利用に関する指標		現状	目標	実績	
		令和□□年度	令和7年度	令和▲▲年度	実績/目標
①総人口（人）					
排出量	事業系ごみ排出量（トン）				0%
	生活系ごみ排出量（トン）				0%
	1人1日当たりのごみ排出量（g/人日）	0	0	0	0%
	その他排出量（集団回収等）				0%
	総排出量（トン）	0	0	0	0%
	1人1日当たりの排出量（g/人日）	0	0	0	0%
再生利用量	総資源化量（トン）				0%
	総排出量に占める総資源化量の割合（%）	0	0	0	
最終処分量	埋立最終処分量（トン）				0%
	総排出量に占める埋立最終処分量の割合（%）	0	0	0	
エネルギー回収量	年間の発電電力量（MWH）				
	年間の熱利用量（GJ）				
特記事項					

※ 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、（実績の割合-現状の割合）/（目標の割合-現状の割合）を記載。

(生活排水の処理)

生活排水処理に関する指標		平成30年度現状		令和7年度目標		令和7年度実績	
		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
処理形態別人口	公共下水道	1,901人	14.1%	2,884人	22.6%	2,322人	18.9%
	漁業集落排水施設等	754人	5.6%	736人	5.8%	612人	5.0%
	合併処理浄化槽等	3,618人	26.8%	4,902人	38.5%	3,731人	30.4%
	小計：汚水衛生処理人口	6,273人	46.5%	8,522人	66.9%	6,665人	54.3%
	単独処理浄化槽等	2,003人	14.8%	1,690人	13.3%	1,565人	12.8%
	非水洗化人口	5,222人	38.7%	2,528人	19.8%	4,042人	32.9%
	小計：未処理人口	7,225人	53.5%	4,218人	33.1%	5,607人	45.7%
	合計：総人口	13,498人	100.0%	12,740人	100.0%	12,272人	100.0%
し尿・汚泥の量	汲取りし尿量	2,579キロリットル		1,117キロリットル		2,066キロリットル	
	浄化槽汚泥量	4,687キロリットル		6,358キロリットル		5,389キロリットル	
	合計	7,266キロリットル		7,475キロリットル		7,455キロリットル	

3 目標達成に向けた施策状況

目標指標	目標達成への施策状況
ア. 一般廃棄物の排出量に関する事項	
イ. 一般廃棄物の再生利用量に関する事項	
ウ. 一般廃棄物の最終処分量に関する事項	
エ. 一般廃棄物のエネルギー回収量に関する事項	
オ. 処理形態別人口に関する事項	公共下水道計画区域、漁業集落排水事業整備区域外の区域の新築を除く専用住宅において、単独浄化槽又は汲み取り便所から合併浄化槽へ切替え設置する者へ設置費用の一部を補助する。【計画期間】令和2年度～令和6年度 【計画基数】100基（5人槽：30基、7人槽：65基、10人槽：5基） 【実績基数】39基（5人槽：19基、7人槽：20基、10人槽：0基）（R2 5人槽：5基、7人槽：3基）（R3 5人槽：4基、7人槽：5基）（R4 5人槽：3基、7人槽：2基）（R5 5人槽：5基、7人槽：4基）（R6 5人槽：2基、7人槽：6基）
カ. し尿・汚泥の量に関する事項	
その他	

4 目標の達成状況に関する評価

浄化槽設置整備事業に係る達成状況について、浄化槽の設置基数は計画基数100基に対して実績は39基となり、達成率は39%となった。汚水衛生処理人口は、目標の4,902人に対し実績は3,731人となり、達成率76.1%となった。汚水処理人口普及率は目標の38.5%に対し実績は30.4%となり、達成率は78.9%であった。 合併処理浄化槽及び浄化槽設置整備事業の実績は目標値を下回っている。下回った要因として、浄化槽から公共下水道への切替えの増加や人口減少のためと考えられる。よって次期計画では計画基数を60基に変更することとする。 今後、一人暮らしの高齢者世帯の増加や人口減少、経済情勢の悪化により、町民の家屋の新築や排水設備の改造への需要が低下し、浄化槽の設置機会が減少されることが懸念されるが、引き続き、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図るため、広報誌等を通じ浄化槽の普及に係る啓発活動を積極的に進めるとともに、循環型社会形成推進交付金を活用した浄化槽設置整備事業を実施し、残る未処理人口の解消を着実に図っていきたい。

（都道府県知事の所見） 浄化槽設置基数、合併処理浄化槽等の汚水衛生処理人口及び汚水衛生処理人口普及率はいずれも目標を達成できなかったものの、汚水衛生処理人口普及率は計画当初よりも向上し、目標に対して8割を達成しており、未処理の汚水処理人口の解消に一定の進捗があったと評価できる。 今後も浄化槽設置整備事業を着実に実施し、計画的・効率的に浄化槽の普及を進めるとともに、生活環境の保全に係る啓発等の取組を進め、残る未処理人口の早期解消及び生活環境の保全に努めていくことが重要と考える。
--

※令和7年3月31日までに承認された地域計画については、なお従前の様式にて提出できるものとする。